

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和3年7月27日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日本ピラー工業株式会社 執行役員福知山事業所長 進元 広志
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	日本ピラー工業株式会社 福知山事業所 その他工場一カ所
導入年月日	2002年 9月 3日
認証番号	JQA-EM7621
基本方針	日本ピラー工業は、環境問題への取組みが人類共通の課題であると認識し、企業の社会的責務を自覚し「良き企業市民」として地球環境保全に積極的に取り組んでおります。 また、地域社会の発展にも貢献することで、社会と企業の持続可能な発展を目指します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	令和2年度目標の一部 ①省エネルギーの推進 出荷高原単位1%以上減 ②廃棄物の削減とリサイクル率の向上 ③環境配慮型製品の客先への販売・提供:12件/年
目標を達成するための取組の内容	①省エネルギーの推進 ・各部署において、生産性向上・設備改善等を実施し省エネ活動をじっし。 ②排出物のリサイクル率85%以上 ・廃棄物の中から新たなリサイクル品の検討実施 ・各現場での分別教育実施による再徹底 ③環境配慮型製品の開発改良 ・客先と連携となった製品開発を進め、長寿命且つ省エネルギーに貢献する製品
目標を達成するための取組の進捗状況	ほぼ計画通りに進捗
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①省エネルギーの推進 前年度比出荷高原単位約14.5%削減 ②排出物のリサイクル率を85%以上 継続的にリサイクルを実施したが61.5%にとどまった。 ③環境配慮型製品の開発改良 長寿命且つ省エネルギーに貢献する製品に関して新製品・改良サンプルを提供
事業活動に係る法令の遵守の状況	・法規制への違反、行政からの指導は無かった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年に1回見直し。 前年度の活動評価を確認し見直し実施。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。